

宮臨技学術部 研修会報告書 平成25年度 学術部長 氏家和明	
研修会名	「採血業務について」
担当分野	管理運営 生化学
開催日時・時間	2013/8/3 午後14:00～17:00
開催会場	石巻赤十字病院 会議室
参加人数	会員27名・賛助会員3名・実務委員4名・講師6名 合計 40 名
次第	<p>レクチャー「採血ガイドラインについて」  極東製薬株式会社学術部安倍夏生  講演「採血技術について」石巻赤十字病院看護部 4階東病棟 看護係長 佐々木武志 先生  シンポジウム「採血業務の運用と課題について考える」  シンポジスト  東北大学病院検査部 鈴木 宏 技師  大崎市民病院臨床検査技術部 山本 香織 技師  仙台市立病院医療技術部臨床検査科 小野寺 佳子 技師  石巻赤十字病院検査部臨床検査課 貫洞 貴美子 技師  総合討論</p>
内容	<p>「採血ガイドラインについて」  2011年1月に成案された標準採血法ガイドラインについて重要点並びに採血管の取り扱いによる検査値への影響についてに説明があった。今回はじめてガイドラインを知ったという会員もいて、非常に有意義であった。</p> <p>「採血技術について」  採血実施時に選択する血管と安全領域、採血手順、注意点について講義があった。採血に関して看護部門と検査部門の連携が重要で、採血管の注意点などの情報発信が重要だと感じた。</p> <p>シンポジウム「採血業務の運用と課題について考える」  4施設の採血業務の現状と課題について15分ずつ講演いただき、40分ほどフロアの会員とデスクッションを実施した。活発な討論がおこなわれ、採血業務に直面している臨床検査技師の課題が浮き彫りにされたような気がする。採血自体の手技に関することや、採血管準備装置のトラブル時や採血待ち時間が長くなった場合の対応、採血手技の教育方法といった点が話し合われた。今後の業務に役立つ内容であったと感じた。</p>